

私たち 諏訪市認知症地域支援推進員です No.3

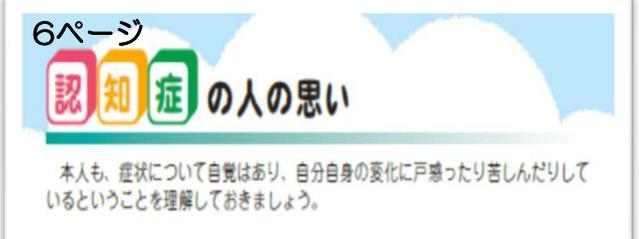
ライフドアすわの認知症地域支援推進員は、諏訪市地域包括支援センター（高齢者福祉課）や諏訪市社会福祉協議会と協力し、地域全体で認知症の方や家族を支え、認知症になっても安心して暮らせる地域をめざし、さまざまな取組をしています。昨年11月より、認知症や私たちの活動について動画を制作しており、今回は第5・6回の内容をご紹介します。



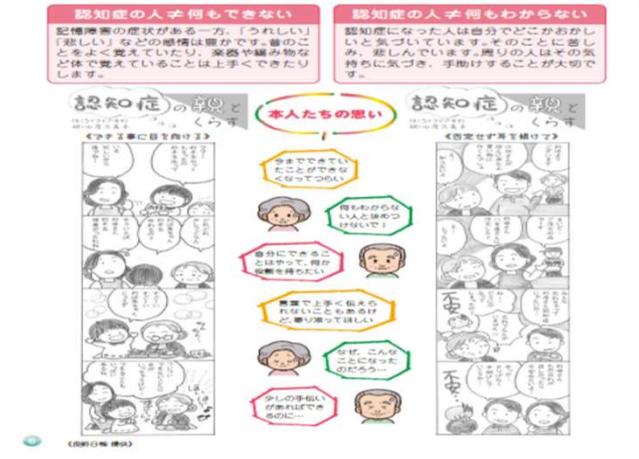
第5回「諏訪市認知症ケアパスについて」(令和3年2月 配信)



認知症ケアパスとは、認知症の状況に応じて、いつ・どこで・どのような医療や介護サービスなどを受けられるか示したものになり、それぞれの地域で作成されています。認知症の方が、望む暮らしの道筋を立てるためにご活用いただけるよう、ライフドアすわが中心となり作成をした「諏訪市認知症ケアパス」についてご紹介いたします。



認知症の経過	元 来	変化が起き始める時期	軽微した時期	症状が多発する時期	認知症による障害が顕著な時期
本人の様子	活動的ながる 積極的に社会参加する 趣味づくりや介護予防をする	自立 物忘れがある程度見られる 計算間違いや調理ミスが増える 不安や焦りがあり、怒りっぽくなる	見守りがあれば生活は自立 用いたことを得意に誇り愛用し続ける ・物や人の名前が出てこない ・物忘れや、しまし忘れが増える ・判断、買い物、金銭管理が難しくなる	生活を送るための支援が必要 「物を置いた場所の覚えている ・洋服や靴履きと着てできなくなる ・食卓でのやり取りがわからなくなる ・物忘れが目立つようになる	認知に専門的な支援が必要 ・コエネクトケアの開始に必要 ・食事、トイレ、入浴、移動などの日常生活が難しくなり楽しくなくなる ・車いすやベッドでの生活が楽しくなくなる
気持ち		自分の生活が不安定になってくる 認知症になっしつくりしては悪いことではない	できる限り暮らせるが、できる事もたくさんあることを知って欲しい	認知症がかなり進んでも、何もわかっていないと気がいらぬ	
家族の心構え・準備	本人と一緒に認知症初期に関する取り組みを実施する	・何かがおかしいと思ったら、急に話さずに、急に認知症センターや認知症ケアセンターに相談する ・認知症サポートチームや認知症ケアセンターなどを利用し、認知症について学ぶ機会をもつ	・認知症がかなり進んでも、きちんと考える ・本人の生活に支障が、できる限り生かすために、共通しながらサポート ・今後の生活設計について話し合っていく	本人が安心して暮らせるように、介護保険やサービスを利用を検討する	本人が安心して暮らせるように、介護保険やサービスを利用を検討する
予防・交流	■認知症予防などの活動（すわっぴい、いきいき健康、ボランディア、介護予防教室、認知症予防教室、シルバー人材センター） ■身近な交流の場（ふれあいサロン、サークル、老人クラブ、公民館活動、認知症カフェ、集会所）				
医療	■認知症専門医の診断（かかりつけ医、認知症サポート医、認知症科医、認知症初期支援チーム、認知症連携センター） ■認知症の専門医に自宅へ来てもらう（認知症診療、認知症、認知症ケア、認知症、リハビリ）				
相談	■認知症専門医の相談、介護保険に関すること等（市役所高齢者福祉課、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、市社会福祉協議会）				
介護保険サービス	■ケアマネジャー：本人や家族の状況に応じ、介護保険ケアプランの作成、介護保険に関する手続きの支援 ■認知症ケアセンター（グループホーム、訪問介護、訪問看護、訪問介護、訪問看護、訪問介護、訪問看護） ■認知症ケアセンター（グループホーム、訪問介護、訪問看護、訪問介護、訪問看護、訪問介護、訪問看護）				
生活支援	■地域で見守りや助け合い（民生委員児童委員、高齢者生活センター、配食サービス、認知症サポートチーム、介護なんでも相談員）、配食サービス、緊急通報システムなどの活用 ■日常生活自立支援事業、任意後見制度、成年後見人制度（お金の管理や契約のこと、契約に関すること）				
住まい	■認知症（在宅医療）、福祉用具 ■サービス付き高齢者向け住宅、介護付き有料老人ホーム、グループホーム（認知症対応型共同住宅）、老人保健施設、特別養護老人ホーム				



認知症の経過順に、ご本人の様子・気持ち、ご家族の心構えや準備をまとめ、また支援の主な制度やサービス等を一覧にしました。

認知症の方の視点で描いた4コマまんがを題材に、認知症の方の思いをわかりやすくあらわしました。

この他にも、認知症についてや、諏訪市独自の認知症予防に向けた取組み、認知症の方に接する上での具体的な対応のポイントなどを盛り込んでいます。

諏訪市認知症ケアパスは、諏訪市地域包括支援センター（諏訪市役所2階）諏訪市社会福祉協議会・在宅介護支援センター（聖母/かりんの里/湯の里/西山の里）・ライフドアすわ等に置いてあります。また、ライフドアすわのHPでも公開をしています。

ライフドアすわ 検索



ぜひご覧ください



第6回「諏訪市認知症初期集中支援チーム」(令和3年3月 配信)



認知症は、早期に発見できなかったために、診断が遅れたり、十分なケアが行われずに進行してしまう場合があります。早期の段階での支援がとても重要です。認知症初期集中支援チームは、認知症になっても、安心して住み慣れた地域で健やかに生活していけるように、認知症の方とご家族をサポートをしています。

認知症初期集中支援チームとは

- ◇ 認知症の方とご家族を支援する医師と医療・介護・福祉の専門職によるチーム。
- ◇ チーム員が家族等の訴えにより、認知症が疑われる方や認知症の方・家族等を訪問。適切な医療や介護を受けられるようにつなげたり、ご本人やご家族の望みや困りごと、症状や普段の生活の様子などをおうかがいし、ご一緒に対処策を考えていきます。
- ◇ 概ね6カ月の期間を目安に集中的に支援を行います。

認知症初期集中支援チーム 支援対象者

- ◇ 認知症または、認知症が疑われる在宅で暮らす40歳以上の方で、次のいずれかに該当される方。
- ① 認知症の診断を受けていない、または治療を中断している。
- ② 医療サービスや介護サービス等を利用していない。
- ③ 何らかのサービスを利用しているが、認知症による症状が強くどのように対応して良いか困っている。



65歳未満で発症する「若年性認知症」の方も含まれます。

認知症初期集中支援チームの「初期」とは

- ① 認知症の初期段階
- ② 認知症の方へのかかわりの初期
= 初動 (First Touch)



認知症の経過が中期であっても、医療や介護などにつながっていなかった方も含まれます。

チームの支援を受けたいときには・・・

諏訪市地域包括支援センター

にご相談ください。

◇ 諏訪市地域包括支援センター (諏訪市役所2階 高齢者福祉課内)

☎ 52-4141 (内線291・292・298)

窓口開設時間 平日8:30~17:15



■ ご紹介した内容は、諏訪市公式チャンネルで動画配信をしています

諏訪市公式チャンネル

検索

または



ライフドアすわホームページ「リンク集」の「諏訪市公式チャンネル(YouTube)」から